



学校だより

第411号
横浜市立みたけ台中学校
3月号
令和3年2月26日

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

春風駘蕩

校長 小林 誠

梅の花が咲きほころび、だんだんと暖かさを感じる日が増えてきた今日この頃です。緊急事態宣言が功を奏したのか、日々の新型コロナウイルス感染者数も減少が続き、また、ワクチン接種が始まるなど世の中にも明るさが見えてまいりました。コロナ禍による休校から始まった令和2年度も、厳しい寒さとともにもうすぐ終わりを迎えようとしています。

みたけ台中学校は、3月11日に第42回卒業証書授与式を迎えます。この間に卒業した生徒は6779名を数えます。そこに新たに、9年間の義務教育を修了する3年生104名が加わり、それぞれの夢と希望を胸に巣立っていきます。この一年間、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、さまざまな学校行事が中止・変更される中、卒業証書授与式もまた、例外ではありません。保護者の方の入場制限やご来賓・在校生の列席の取りやめなど、感染対策に配慮しながらの実施となります。しかしながら、3年生たちはこの逆境にあっても互いに助け合い、高め合いながら、楽しく充実した中学校生活にすべく、日々頑張っていました。彼ら・彼女らに、この穏やかな春の風のように暖かく明るい未来が待っていることを期待してやみません。

1・2年生も学年のまとめの時期に入ります。残念ながら、体育祭も合唱コンクールも中止になる中で、大きな行事で先輩たちの活躍する姿や、そのために努力する姿を目の当たりにする機会がたいへん少なかったことは否めません。しかし、部活動や委員会活動では、先輩たちの活動を見ることはできたのではないのでしょうか。この3月は、学習や生活をしっかりと振り返るとともに、新年度に『先輩』として、下級生や新入生にどんな姿を見せられるか…。しっかりと準備を進めてほしいと思います。

この一年は、地域・保護者の皆様から十分にご協力をいただく体制を整えることができませんでしたことが、校長として大変残念です。地域の方をお招きしての講習や、生徒が地域に出たボランティア活動など、子供たちの成長のための交流活動ができませんでした。しかしながら、地域の方々からは、折に触れお声をかけていただき、子供たちのことを気遣っていただきました。これまでの長年の交流が一度は途絶えましたが、みたけ台中学校が『地域とともにある』学校であることは変わりありません。感染症対策を取りつつ、できることから再開を目指しております。

本校の教育活動を支えてくださいました保護者・地域の皆さまには、厚く御礼を申し上げます。

来年度も、温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

卒業遠足

2月24日(水)に3年生は卒業遠足を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に、昼食を済ませてから集合し、バスでよみうりランドへ出かけました。中学校生活最後の思い出作りに寄与することができたのではないのでしょうか。



修学旅行に向けて

2年生は、来年、6月に行われる予定の修学旅行に向けて、活動を進めています。修学旅行実行委員会を中心に、スローガンや生活のきまりについて検討を進めています。

事前学習として、社会科の時間を中心に、一人ひとりテーマを受け持って、B4サイズのパンフレットづくりをしています。横浜市内の図書館から関係する書物をお借りしたり、インターネットを検索して調べ学習を進めています。テーマは、京都・奈良にある神社仏閣についてはもとより、博物館、京都・奈良の文化にまつわるもの(言葉、食べ物、特産品、伝統工芸他)、動物など多岐に渡っており、廊下掲示のあと、冊子にして班別自主行動の決定のための参考資料にするようです。力作が期待できそうですね。

自然教室に向けて

1年生は、来年、5月に行われる予定の自然教室に向けて、活動を進めています。スローガンを決め、各クラスごとにテーマを決め、壁新聞づくりをしています。3月に行う予定の学習発表会でお互いに披露する予定です。

自然教室スローガン 未来へ ～実らせよう、自然からの学びを～

今後は、係会を行って、今年度内に決められることの検討を進め、新年度になってスムーズに活動が進められるよう準備をしていく予定です。

令和2年度教育活動評価のまとめ

生徒のみなさんには紙面で、保護者の皆様にはwebで、学校評価を行っていただきました。本年度は、コロナ禍で、学校行事や地域の方々との交流、部活動の大会などが中止を余儀なくされてしまいましたが、できることをできるだけ進めてまいりました。まとめたものを挟んでおきますので、ご一読ください。皆さんにいただいた評価を真摯に受け止め、生徒一人ひとりにとって過ごしやすく、将来に向けての準備が進められる学校になるよう職員一同進めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。